

Lesson 12 学歴社会の問題点を分析する

DIALOGUE

間借りして

首都圏の私立大学に通う新入生の入学時の費用が、200万円を越えている。その後も月々約10万円ほどの仕送りが必要。生活費の中ではまず部屋代、東京ではアパートを利用する人が64%、マンションは13%、不景気でも安い寮を利用する人は13%と少ない。その他、自宅、寮以外の学生は月々3万円ほど食費がかかり、節約したいもののトップにあがっている。次いで節約したいものは電話代。携帯、PHSは約70%が利用しているが、備え付けの電話も含めて、電話代は平均7,500円ほど。耐久消費財の中では、パソコンの所有率は62%で、ともかく親の金銭的負担は大きい。ほとんどの親は前もって教育ローンなどの積み立てをしているが、それでも家計を圧迫している現状に変わりはない。親としては勉強も大切だが、本人へのアルバイトも期待している。それではどの程度アルバイトしているのかと言えば、77%がアルバイトの経験があり、一ヶ月のアルバイト収入は3万円ほど。現代は競争社会である。」

能力があれば人より少しは抜きん出ることができのわけだから、必然的に学歴社会にならざるをえない。努力した者が報いを受けるのは当然のことであるが、子供の将来を案ずる親としては、黙ってられない問題である。教育にはお金がかかる。今は教育にいくら投資したかによって、成績順位が決定されるといっても過言ではないかもしれない。「親の心、子知らず」。親にとっては本当に頭の痛い問題だ。



合格の陰に親の「嘆き」

Free Talking

- 1 韓国は学歴社会ですか。(大学進学率は何%ですか。)
- 2 現在の教育制度に満足していますか。(大学不正入学をどう思いますか。)
- 3 教育費はどのくらいかかりますか。(入学金・学費)
- 4 もし子供がいたら、あなたはどのように育てたいですか。
- 5 学生時代は一生懸命勉強したほうがいい？ 青春を謳歌したほうがいい？
- 6 今の大学生が抱えている問題は何だと思いますか。